



連合PTA研修会で講演する差波准教授

## 子育て 地域間で連携を

差波准教授（八学大）が講演

### 五戸

五戸町連合PTA（高橋康之会長）は9月29日、町立公民館で研修会を開催した。八戸学院大学短期大学の差波直樹教授が講演し、参加者約90人が現代の子育てを取り巻く状況について学んだ。

「今、目指したい家庭・地域・学校の協働」と題した講演では、少子化・核家族化により小さい子どもと

関わる経験がないまま親となることで、子育て情報の正否が判断できず不安感が高まっていると指摘。地域のつながりの希薄化による孤立感、共働き世帯の増加による母親の負担感増大なども問題点として挙げ、幼稚園や保育園と学校、家庭、地域間で連携することの重要性を強調しながら「当事者それぞれにメリットがあるはず。それを共有したり理解しあうことができれば

連携は自然に続いていく」と述べた。

また、近年は幼児教育や保育の方向性が改められている現状も紹介。0～2歳児の乳児保育について「生活や遊びを通し、身体的・社会的・精神的発達の基礎を培うことが求められている」と強調した。

（斎藤義隆）